

学部間協定留学 留学報告書

記入日：2019年5月22日

基本情報			
所属学部・学科	経営学部経営学科		
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
留学先国	フィンランド		
留学期間	2018年9月～2019年5月		
留学時の学年	4年生（渡航した時の学年）		
帰国年月日	2019年5月16日		
明治大学卒業予定時期	2020年3月		
留学先大学について			
大学名（英文・和文）	英文：University of Eastern Finland 和文：東フィンランド大学		
所属学部またはコース名	ビジネス社会学部ビジネス学科		
キャンパスの所在地	フィンランド・クオピオ		
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦（Academic Year）	春学期：1月～5月（期末試験期間：なし） 秋学期：9月～12月（期末試験期間：なし）		
所属学部の学生数	4,300人（学部生と院生の合計）		
留学生の割合	30～50%（学期によって変動）		
留学にかかった費用			
項目	現地通貨 (EUR)	円	備考
授業料	0	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	2,720	353,000円	一ヶ月：272ユーロ（約35,000円）
食費	900	116,000円	一ヶ月：120ユーロ（約15,000円、自炊）
通学費	230	30,000円	一ヶ月：37ユーロ（約4,800円、徒歩も可）
学校用品	130	16,000円	学生団体の年会費のみ、教材費は無料
教養・娯楽費	272	34,000円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費		58,000円	保険会社：東京海上日動
渡航費		185,000円	東京-クオピオの往復オープンチケット
旅行費	5,700	730,000円	留学中に旅した国：米、伊、豪など
語学学校	0	0円	
奨学金/助成金		-1,020,000円	奨学金：720,000円 助成金：300,000円
その他	940	123,000円	ビザ：40,000円、家具・食器など：56,000円、SIM：27,000円
合計		625,000円	
渡航について			
1) 航空券を購入した時期			
<input type="checkbox"/> 留学先へ出願後 <input type="checkbox"/> 入学許可書受領後 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ取得後 <input type="checkbox"/> 出発直前 <input type="checkbox"/> その他（ ）			

2) どのように購入しましたか？	
インターネット（エイビーロード経由）	
3) 渡航経路を教えてください。	
(往路) 成田空港－ ヘルシンキ空港（経由）－クオピオ空港 (復路) クオピオ空港－ ヘルシンキ空港（経由）－成田空港	
4) 航空券代金	
利用航空会社： フィンエアー 往路： _____ 復路： _____ 合計： 185,000 円（まとめて取得したため、それぞれの値段は不明）	
5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。	
ヘルシンキからクオピオは電車（4時間）やバス（5,6時間）ではるかに安く行くことができます。チケットの購入や乗り換えは慣れてしまえば簡単ですが、初めは戸惑うかもしれません。	
留学中の滞在先について	
1) 種類（留学中の滞在先）	
<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）	
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数： 2,3 人 ）	
3) 住居の探し方	
<input type="checkbox"/> 留学先機関が斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探す	
4) 大学までの利用交通機関と通学時間（片道）	
利用交通機関	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）
通学時間（片道）	バス：5分、徒歩：15～20分
5) 滞在中の食事について	
【平日】	【休日】
朝： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）	朝： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）
昼： <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 食堂 ）	昼： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）
晩： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）	晩： <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他（友人とシェア）
6) 滞在先に関する総合的な感想（これから留学する人のためのアドバイス）	
家賃は安く、近くに森や無料の BBQ エリアがあるのが魅力的です。物価（特に外食）が高いため、自炊や友人同士で作るのがほとんどでした。家賃の振込は最大半期ごとで、現地のコンビニを使ってクレジットでも支払いができるため、銀行口座を開設しなくても大丈夫です。	
現地に関する情報	
1) 留学中は病院にかかりましたか？	
<input type="checkbox"/> はい（利用機関名： _____ ） <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？	
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/> わからない	
3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？	
チューター、現地大学の留学生担当者	
4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/> わからない	

5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？	
情報収集	<input type="checkbox"/> 現地コーディネーター <input checked="" type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> ネット（参考サイト： ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 現地日本大使館からのメール ）
防犯対策	
6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	
7) 6で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？	
8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？	
パソコン	部屋のWi-Fiは古いモデムだったため、接続が悪かったりアダプターがなかったりして使えないこともありました。そのため、大体は携帯からのテザリングを使っていました。
インターネット	どこの回線も申し分なく早かったです。
携帯電話	DNAという会社のSIMカードを使っていましたが、使い放題プランが安く、アプリでパッケージを更新できるため、非常に便利でした。初めは電話も入ったプランにしていたのですが、電話はほぼ使わなかったため、インターネットのみのプランで十分でした。
9) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。	
<p>クレジット決済の普及率が非常に高いため、現金はそこまで多く持つ必要はないと思います（私は15万円分持っていきましたが、最後は現金をなくすことに苦労しました）。日本の銀行口座に奨学金が振り込まれて、そこからカード代金が引き落とされるため、資金調達に困ることはありませんでした。</p> <p>ただし、友達と割り勘をするときなどに現金が必要となるため、多少は必要です。キャッシュパスポートなどで現地のATMから現金を引き出せますが、手数料は高いです。</p> <p>ちなみに、現地での銀行口座開設は1週間ほどで簡単にできますが、口座を持っているだけで毎月手数料が発生するためあまりお勧めはしません。</p>	
10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。	
SIMロックがかかっているスマートフォンは、出国前に解除してもらう必要があります。SIMカードの取り出しピンも持っていったほうがいいです。	
進路について	
1) 進路	
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？	
<p>就職を希望していたが4年秋からの通年留学だったため、この点に一番苦労しました。結果的に、大きく分けて3つの期間で就職活動を行いました。</p> <p>まず、出発前に帰国後秋入社できる会社を探して少し就職活動をしましたが、内定は得られませんでした。その後、11月のボストンキャリアフォーラムでは、別の会社の内定をいただくことができました。しかし、他に志望する会社がまだあったため、帰国後も就活を続けることにしました。帰国後は留学生向けの選考を受ける予定で、就職先は未定です。</p>	
3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。	
内定時期	11～12月
企業名	アズビル株式会社（ボスキャリア期間内） パーク24株式会社（終了後Skype面接にて）
業界	制御・計測機器、交通インフラ
その企業或いは	社会を支えるシステムに興味があり、ITを使って新たな価値・体験を生み出し

業界を選んだ理由	ていると感じたため、このような業界を選びました。
4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。	
<p>振り返ると、留学中に就職活動を進めるのは容易ではありませんでした。授業が少なければ自分と向き合う時間を十分に取れますが、課題の忙しい時期にESの締切が重なるとかなり大変です。さらに、就活に傾きすぎると孤独になってしまうため、個人的につらかった時期もありました。</p> <p>しかし、現地の生活で日本にはないサービスやシステムに触れたり、友達や現地で働く日本人と話したりすることで、将来やりたいことが変わる可能性も十分あります。そのため、出発前に就職先を決める必要はないと感じます。</p> <p>留学中に振り返りのタイミングをいくつか設けて、興味を持ったことや学んだことなどをまとめ、帰国後に就活に専念すると効率的に進められると思います。</p>	
5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。	
進学先決定時期	
進学先	(差支えなければご記入ください)
その進学先を選んだ理由	
6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします(試験対策など)。	
7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。	

留学に関するタイムチャート

2017年9月～12月 募集要項公開～選考試験日	ゼミの研究活動の大詰めと重なっていたため、とても大変でした。留学計画書は友達に添削してもらい、面接の練習も留学生の友達に手伝ってもらいました。
2018年1月～3月 合格発表後～出願準備期間	留学手続きに関して特にやることはありませんでした。3月上旬に留学先の担当者から出願手続きの案内のメールがありました。
2018年4月～7月 出願後～渡航の準備	送られてきたフォームから4月末に出願しました。Learning Agreementも出願と同時に提出しましたが、履修は割とフレキシブルなので渡航後にも変更は可能です(他の大学は違うかもしれませんが)。5月末にAccept letterが届き、そこからビザや住居、海外保険、JASSO奨学金など手続きを一気に進めました。航空券は往復のオープンチケットで予約し、7月中旬に取得しました。
2018年8月 留学開始直前	留学費用を賄うために、6月ごろから留学直前までひたすらアルバイトをしていました。また、結局英語はそこまで勉強する時間が取れませんでした。出発前の英語力を確かめるためにTOEICだけ受験しました。

<p>2018年8月下旬 留学開始</p>	<p>着いてからは現地でのSIMカードやWi-Fiの整備に苦戦しました。部屋のWi-Fiはモデムが古くて最初は使えず、SIMカードの取り出しピンも忘れたため、数日間は家でネットが使えない環境でした。 また、家具なしの部屋であったため、すぐにチューターの子とIKEAに行き生活に必要なものを一式そろえました。 到着から1週間後にオリエンテーションがあり、交流イベントがたくさんあったため友達が少しずつできていきました。 授業開始は9月中旬からだったため、最初の2,3週間はあまりやることのない状態でした。</p>
<p>2018年10月～12月 留学中</p>	<p>授業やグループワークも本格的に始まりました。フィンランドの授業は曜日が決まっているわけではないので、週によって時間割はバラバラでした。また、グループワークがメインであるため授業の回数は多くありません。メンバー同士でミーティングを重ねながら最終プレゼンへ準備を進めるのがほとんどの授業のスタイルです。 さらに、気候も特徴的でした。11月になるとほぼ毎日曇りなので、久しぶりに晴れた日は景色の美しさに感動するほどです。日中の時間も短くなって殺風景なため、友達と関わることをこの時期は大切にしていました。</p>
<p>2019年1月～3月 留学中</p>	<p>UEFの学期は前半と後半に分かれていて、ビジネスの授業はほとんどが3月下旬以降の後半でした。そのため、1月2月は時間に余裕があり、就活などについて考えることも多くありました。3月中旬には1週間授業がない週があり、旅行に行く余裕もありました。 気温は1月が最も寒かったですが段々と晴れの日が増え、凍った湖の上を散策したり、国立公園にみんなで遊びに行ったりしました。</p>
<p>2019年4月 留学中</p>	<p>春学期の授業が本格的に始まり、グループワークを同時にいくつも進める状態でした。特に4月下旬から5月上旬はプレゼンやレポートが重なってこの1年で最も忙しい時期でしたが、留学の集大成ということで何とか乗り切りました。試験や課題が終わった後は、就活もあったためすぐに帰国しました。 日も段々と長くなりフィンランドの夏が始まる季節なので、もう少し自然を満喫してから帰りたいかという思いもありました。</p>
<p>2019年5月～7月 帰国後</p>	<p>5月中旬に帰国してから、就活の準備を進めている状態です。留学からの帰国生向けの就活がメインとなるため、7月ごろまでかかるつもりで臨んでいます。</p>

留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。

主に2つあります。1つ目は、漠然と「成長したい」という思いがあったからです。短期留学やゼミ活動から、自分にとって厳しい環境が自分を成長させてくれるということ学びました。特に、英語力、忍耐力、生活力を高め、視野を広げるために、「留学」という道を選択しました。2つ目は海外での生活に憧れがあったからです。元々海外に興味があり、学生のうちに長期留学に行って海外で生活してみたいという思いがありました。社会人になる前にこれを経験することで、今後の人生に影響を与えたいと思い、4年秋からの長期留学を選択しました。

語学について	
受験した語学能力試験	<input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input checked="" type="checkbox"/> TOEIC <input type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> その他（試験名： ）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	細かい時間を使って何度も英語に触れるようにしていました。具体的には、電車の中で特急シリーズの文法や読解対策を解いたり、寝る前に毎晩10分リスニング問題を聞いたりしていました。たくさんの問題に触れるよりも、一つの問題や参考書を繰り返し取り組んだことが、私にとって効果があったように感じました。
総合的なアドバイス	テスト対策となると、どうしても英語力のほかに戦略も必要になりますが、実際の会話では「英語で瞬時に考える」ことが100%となります。スコアを十分満たしたら、会話表現や英語で考えることに重きを置いたり、英語を話す環境で慣らしたりすることも大切だと感じます。私は留学生の友達と定期的に会うとともに、「英語[3秒即答]スーパートレーニング」という教材を使って、英語での受け答えを練習していました。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
主に3つあります。1つ目は英語圏以外の国で、新たな文化に触れてみたかったからです。一方で言語の不安もありましたが、フィンランドは非英語圏の中で英語能力指数が非常に高かったため、この国を選びました。2つ目は、先進的な社会環境を肌で感じられるからです。充実した社会福祉制度や質の高い「フィンランド式教育」、さらに高度なキャッシュレス社会を肌で感じることで、自分にとって新たな発見があるのではないかと考えました。3つ目は、北欧の自然環境が好きだからです。元々スキーやオーロラに興味があり、アウトドアが好きだったため、北極圏に近く、森や湖が無数にあるフィンランドで1年間生活してみたいと感じました。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気教えてください。	
大学（キャンパス）	クオピオのキャンパスは医学部、薬学部系とビジネス学部の生徒が通っています。中央に大きな湖を挟んでいるため、端から端までは1km以上ある横長のキャンパスです。ビジネスの授業は端のほうの新しい建物の教室で行われ、現地のスタートアップや小さな企業のオフィスも併設されているのが特徴です。
学生	日本人と似て、フィンランド人は初対面でシャイな人が多いです。しかし、困っているときに誰かに聞いたりすると、みんな丁寧に教えてくれました。治安もいいため、キャンパス内での事件や盗難などもめったに聞きませんでした。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	イベント自体はあまりありません。現地の学生との交流は、チューターの子や、留学生とのイベントに来てくれた人経由がメインでした。また、ビジネスの授業ではグループワークが必ずあるため、そこでフィンランド人の友達を作ることもできます。
留学生との交流	留学生向けのイベントはたくさんあります。BBQやナイトウォーク、スモークサウナなどのフィンランドらしいイベントから、ハロウィンパーティーや学期末の送別会など多岐にわたります。また、運営自体も留学生や海外出身の院生中心で構成されているため、運営メンバーとして参加することもできます。
留学先大学主催のイベントについて教えてください。	
オリエンテーションの時期以外はあまりないような気がします。9月上旬の新歓イベントは新生と留学生含めてキャンパス全体で行われましたが、それ以外のイベントは上記の留学生向けのイベントを運営する団体が行っています。一つ印象的だったのは、大学と市が提携していて、新歓イベントとして留学生全員が市庁ホールに招待され、議会の議長からスピーチを受けました。	
課外活動について教えてください。	
部活動やサークル活動はなかったように感じました。その代わりに、留学生向けのイベントはとても充実していて、毎週何かしらのイベントがありました。	

一日の課題の量を教えてください。

時期によって大きく異なりますが、基本的に一つの授業は週に一回なので、そこまで忙しくないと思います。しかし、授業によっては次の授業までの課題で2, 3本の論文を読んできたり、グループワークが本格化するとミーティングや分担した作業も加わったりするため、授業の数でも大きく左右されます。また、同じ時期に授業がたくさんあると、プレゼンテーションやレポートの時期が被るため、スケジュール管理が大変でした。

期末試験について教えてください。

期末試験がある授業は多くはありませんでした。試験は、ほとんど記述式のテストなので、ひたすら書くことが求められます。また、期末試験は決まった時期がなく、3回のチャンスがあっても受けられるため、他のテストと時期がかぶって大変そうであれば、自分で次の日程にずらすことができます。

留学先で直面した困難（壁）について教えてください。

主に2つあります。1つはグループワークです。初めの頃は発言しようとしても自分の考えをうまく伝えられず、分かってもらえなかったことが多くありました。言語の壁のほかに議論の進め方や前提知識の違いもあり、思い通りに議論を進められないこともありました。私はミーティングの前後でメンバー1人1人と話し、少しずつ信頼関係を築くことを大切にしていました。もう1つはルームメイトとの生活です。私が滞在していたのはキッチンとバスルームのみ共有のアパートで、3人でシェアしていました。最終的に仲良くなれたのですが、室内でも土足でいる文化にはかなり苦戦しました。また、掃除の習慣なども人や文化によって違いますが、自分のやり方をルームメイトに押し付けないように気をつけていました。

これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。

私は留学前、「留学」に対して華やかなイメージがありましたが、華やかさだけではないということが一番強く感じました。遠い異国の地で一人で生活することは容易なことではなく、孤独を感じることもありました。しかし、友達と遊びに行った時や日本の友達と連絡を取った時に友達の大切さを感じたり、友達のジョークがわかった時や最終プレゼンが成功した時に自分の小さな成長を感じたり、他にも留学しなければ得られなかったと感じる瞬間がたくさんありました。留学は華やかさだけではなく、そのつらい部分を乗り越えると、ものの見方の幅が広がったり、新たな発見があったり、一回りも二回りも成長できるはずです。どんな成長にも痛みは伴いますが、英語力や異文化への適応力が高まるだけでなく、人として成長できるきっかけとなるのが留学だと感じます。

留学先で履修した授業科目

記入日：2019年9月5日

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）	
1) 留学先で取得した単位数	本学で認定された単位数
55 ECTS	<input checked="" type="checkbox"/> 18 単位 <input type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数： ） <input type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由： ）
2) 留学先で履修した科目について	
履修した授業科目名①	
International Sales Work	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	秋学期（9月～11月）
留学先の単位数	6 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回240分の授業が週1回
担当教授	Katariina Ylönen, Saara Julkunen, Marina Kovalchuk
授業内容	先生による説明とそれに準じたワークショップを毎回行います。内容は、販売プロセスやチャネル、組織管理、新規顧客・既存顧客へのアプローチなど実践的な経営学に近いものが多かったです。
試験・課題など	メインのグループワークは、フィンランドの中小企業・ベンチャー企業の商品やサービスを海外へ輸出する戦略を立てるというものです。グループのメンバーと授業時間外で話し合いを進め、最後の授業でプレゼンします。試験は記述式の設問で、授業内容や論文の内容から出題されます。
感想を自由記入	留学前から一番楽しみにしていた授業で、なかなか骨太でやりがいのある授業でした。グループワークも重めの内容なので、メンバーとしっかり話し合うことが求められます。初めのうちは言いたいことが言えず苦戦しましたが、メンバーとコミュニケーションが取れるようになってからとてもいい雰囲気で進められました。また、経営学部生は授業やゼミで学ぶ前提知識があるためある程度理解できそうですが、他学部生にとっては追いつくのが大変そうに感じました。
履修した授業科目名②	
Small Business Finance	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	秋学期（9月～11月）
留学先の単位数	6 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回240分の授業が週1回
担当教授	Kang Li
授業内容	会計の基本的な理論や中小企業での資本構成などを、論文を読みながら先生が説明してくれる形式です。2, 3人のグループで一つの論文を読んでプレゼ

	ンすることで、多くの論文に授業で触れることができます。
試験・課題など	論文読むグループワークと、レポートのみです。分量は多くありませんが、内容を英語で理解するのが難しい部分もありました。 試験はありません。
感想を自由記入	簿記は学んでいたのですが、会計学の知識がなかったので論文を読む際はとても苦戦しました。留学前に会計の理論などの授業を受けていたら理解しやすかったのではないかと感じます。ただ、授業自体は課題も多くなく、そこまで重いものではありませんでした。
履修した授業科目名③	
Team Leadership	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	秋学期（11月～12月）
留学先の単位数	6 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回 240分の授業が週 1回
担当教授	Pasi Hirvonen
授業内容	リーダーシップの種類や役割だけでなく、モチベーションや企業の報奨制度、集団での個人の心理など、組織行動の分野を幅広く扱っています。授業内でグループワークを多用しながら、先生がスライドを使って説明していく授業スタイルです。
試験・課題など	グループワークでの課題がたくさんありました。例えば、企業のエグゼクティブが話す動画を見てグループで発表するものや、実際に現地のコミュニティにアポを取って集団の様子を観察するものなどがあります。 試験はありません。
感想を自由記入	授業内外でのグループワークは一味違ったものが多く、新たな視点を得られることが多かったです。また、先生の英語がほぼネイティブの英語で、この先生の英語をどこまで聞き取れるかを自分の中で毎回基準にしていました。
履修した授業科目名④	
Survival Finnish	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	秋学期（9月～12月）
留学先の単位数	2 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 1 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回 120分の授業が週 1回
担当教授	Petri Tapio Jääskeläinen
授業内容	授業のタイトル通り、文法よりもフィンランド語でコミュニケーションを取ることやフィンランドの文化を知ること重点が置かれた授業です。プリントを使って、フィンランド語の発音、挨拶、数や日常生活、季節の表現を学びます。
試験・課題など	課題はプリントを基本的に埋めてくるだけだったのでそこまで重くありません。 試験は難しくはありませんでしたが、フィンランド語の単語は覚えにくかったので時間をある程度かけて勉強しました。

感想を自由記入	文法をそこまで扱わない分、ライトな感じでフィンランド語に触れられました。イラストや会話が中心の授業なので、楽しく学べます。同じ時期にあった他の授業はけっこう重めだったので、良い意味でリフレッシュになりました。
履修した授業科目名⑤	
International Business Management	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	春学期（1月～2月）
留学先の単位数	6 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回180分の授業が週1回
担当教授	Marina Kovalchuk
授業内容	国際経営比較、チャネル戦略、企業の海外展開、多国籍企業の特徴など、国をまたいだ経営に関することに焦点を当てています。学生は2，3年生が中心で、とても基礎的な内容から教えてくれます。
試験・課題など	メインのグループワークはある新製品やサービスを考えて、それをある国で販売するための戦略を立てるものでした。プレゼンはないですが、いくつかのフレームワークに入れてレポートを完成させます。 試験は記述式ですが、授業内で扱ったスライドの内容から基本的な事柄の説明をするだけなので、そこまで難しくありません。
感想を自由記入	経営学部生なら1，2年生で学ぶようなことなのでやや物足りなさを感じましたが、授業内でのディスカッションはその分発言できる事柄が多くありました。丁寧に教えてくれるため、経営学を履修していない人でも理解が深まるのではないかと感じました。
履修した授業科目名⑥	
Business Simulation Game	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	春学期（1月～4月）
留学先の単位数	6 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 1 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他（オンライン上）
授業時間数	1回180分の授業が3回のみ
担当教授	Jani Saastamoinen
授業内容	グループごとに分かれてオンライン上で同じ経営ゲームに参加し、2か月間でどのグループが最も利益を上げられるかを競います。4，5日おきに設定が変わるため、頻繁に話し合っ、ゲームを進めます。また、授業は初回でのルール説明と最後の各グループのプレゼンのみで、180分が合計で3回です。
試験・課題など	ゲームの結果で成績の半分が決まるため、メンバーと連携を取りながら進める必要があります。また、ゲームが始まる前にどのような戦略で進めるのかのレポートや、ゲーム終了後の振り返りのプレゼンなどもあります。
感想を自由記入	ルールがかなり複雑で、すべての要素を把握するのがとても難しかったです。特にコストを削ることに苦戦し、経営におけるコスト管理の難しさを感じられた気がしました。しかし利益の上がる仕組みを様々な要素から考えられるため、一度経験してみると面白いと思います。
履修した授業科目名⑦	

Finnish 2	
科目設置学部	全学部共通
履修期間	春学期（2月～3月）
留学先の単位数	4 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回120分の授業が週2回
担当教授	Anniina Pellikka
授業内容	Survival Finnishとは違って文法からしっかり学ぶ授業です。フィンランドの曲やアニメなども使いつつ、会話やプレゼンなども行い、様々な角度から飽きずに学ぶことができます。
試験・課題など	課題はテキストの練習問題やプリントをひたすら解くものでした。また、事前に動画で文法の内容を予習してくる必要があったため、フィンランド語の勉強に充てる時間は格段に増えました。 試験は中学校の英語の定期試験のようなタイプで、最後は作文もありました。ただ、これだけ短期間に集中的に行うため、思ったほど難易度は高く感じません。
感想を自由記入	Finnish 1を履修していなかったため初めは追いつくのにとでも苦労しましたが、週2回授業があって課題もなかなかあるため慣れるスピードも上がりました。最終的に試験でフィンランド語での作文をかけたときは、自分で成長を感じられてうれしかったです。また、先生がフレンドリーで優しく、とても楽しく授業を受けられました。
履修した授業科目名⑧	
International Collaboration and Digital Channels	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	春学期（3月末～5月）
留学先の単位数	6 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回240分の授業が週1回
担当教授	Markus Raatikainen
授業内容	オンライン上でのマーケティング、Social MediaやUberなどのビジネスモデル、プラットフォームの要素など、現代のビジネスに欠かせないデジタルの視点を教えてくれます。テキストを読んで、授業ではその内容をもとに様々な事例を用いながら全員でディスカッションしていきます。
試験・課題など	メインのグループワークは学生、大学、企業を繋げるプラットフォームを考案することでした。授業やテキストで学んだ要素やキーポイントを当てはめながらグループで何度も話し合い、最後にプレゼンします。これ以外にも論文を5本読んで内容をまとめるレポートもありました。 試験は別のテキストから出題され、新たな内容も含まれるため、勉強量は非常に多いです。
感想を自由記入	課題面はとてきつかったですが、この留学を通して一番履修して良かったと思える授業でした。先生は「教える」のではなく学生と同じ目線で「一緒に考えて議論する」ように進めてくれたため、主体的に学べたように感じます。また、座学だけでなくクラス全員で協力してストーリーを完成させるような授業もあり、様々な視点から学べました。
履修した授業科目名⑨	

Leading and Managing Change	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	春学期（3月末～5月）
留学先の単位数	6 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回 240 分の授業が週 1 回
担当教授	Päivi Eskelinen
授業内容	個人や組織が変化するために必要なことやプロセスを、事例や論文をもとにディスカッションしていく授業です。特に、組織内で変革を起こす際にキープイントや反抗する人たちのプロセスなど、理論に基づいた実践的な内容まで踏み込みます。
試験・課題など	グループワークでは論文の内容をプレゼンしたり、その内容を体感できるようなワークショップを考えて全員を巻き込んだりします。また、それ以外にも論文を5本読んで内容と自分の意見をまとめるレポートもありました。試験はありません。
感想を自由記入	この授業もかなりきつかったですが、身近なところで活かせる内容から会社に入ってから活かせる内容の両方を学ぶことができました。また、先生が企業において組織変革のサポートの経験のある方なので、話す内容がとても興味深かったです。時にはコーヒーとお菓子をみんなで持参して、みんなで食べたり飲んだりしながらディスカッションをする形式の授業もあり、将来このようにグループや組織を牽引したいと思うロールモデルのような先生でした。
履修した授業科目名⑩	
Global Marketing Management	
科目設置学部	ビジネス社会学部
履修期間	春学期（3月末～5月）
留学先の単位数	6 ECTS
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 2 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）
授業時間数	1回 240 分の授業が週 1 回
担当教授	Heli Hallikainen
授業内容	グローバルマーケティングの様々な理論や論文を紹介してくれる授業です。特にマーケティングや戦略を立案するうえでのフレームワークを学ぶことができます。
試験・課題など	グループワークではある製品やサービスを選んで、それをまだ進出していない第三国へ展開する際のローンチプランを考えて発表しました。これ以外にも Learning Diary という毎回の授業で学んだことをまとめるレポートもありました。試験はありません。
感想を自由記入	授業では事例があまり扱われなかったため、実際のケースを想像しづらく、物足りなさを感じました。しかし最後の各グループの発表はどの班も市場の選定理由やどのように適合させていくかが巧妙に練られていて、とても有意義なディスカッションができました。ちなみに Jonna Koponen という先生が当初持つ予定で、この先生は周りの評判がとても高い先生だったのでぜひ受けてみたかったです。